

## 「木材工業」執筆要領

1. 原稿の記述は横書き，現代仮名遣いとし，原則としてワードプロセッサで作成する。
2. 原稿の長さは，刷り上がり1ページあたり22字×42行×2段組とし，「総説」は6ページ以内，「研究」は6ページ以内，「資料」及び「内外情報」は4ページ以内を原則とする（いずれも図表含む）。
3. 原稿には次の(1)，(2)で構成した原稿送状を添える。
  - (1) 和文の題名，所属機関名，執筆者名，研究・資料の場合は責任著者名
  - (2) 総説，研究，資料には(1)のほか和文の目次概要(150字程度)及び英文題名，英文所属，執筆者ローマ字名，研究・資料の場合は責任著者(Corresponding author)名
4. 原稿および原稿送状作成用フォーマット(ワード文書)は当協会ホームページ(<https://www.jwta.or.jp/>)からダウンロードする。図表を割付した原稿(ワードおよびpdfファイル)と送状を，原則としてメール添付により編集委員会事務局(kakou@jwta.or.jp)に送付する。
5. 研究には英文概要(200語程度)を付ける。
6. 本文の区分けはポイントシステムによる。  
例:1. , 1.1 , 1.1.1 , ...
7. 題名は簡潔かつ内容を具体的に表現するものとし，「…に関する研究」等の表現や冗長な題名はできるだけ避ける。
8. 文章は平易な文体を心がけ，あまりに学術的，専門的な表現は避ける。
9. 動植物の和名，外国語の音読はカタカナを用いる。  
例:シロアリ，ヒノキ，ベニヤレース，ロンドン。  
動植物の学名は，属，種，変種の部分はイタリックとする。  
例: *Acer japonicum* Thunb.
10. 数字は1, 2, 3のようにアラビア数字を用いる。範囲を示す場合は～を用いる。文章の中での分数は1/2, b/aのように行形式で記述する。漢数字は次の例に従う。例:数十%，第三者，三角形，二，三の例。
11. 単位は原則としてSI単位を用い，その表示方法はJIS Z 8203に従う。
12. 数学表記，量記号の表示方法は，それぞれJIS Z 8201, JIS Z 8202に従う。
13. 表はできるだけ簡潔なものとする。表番号(例:表1)は表の上部に，注は表の下部に記載する。複雑な表はなるべく避けてグラフ化する。表とグラフの重複は避ける。
14. 図及びグラフはそのまま製版できるようパソコン等で作成する。図番号(例:図1)，題名，注は，図またはグラフの下部に記載する。
15. 写真は肖像権に留意し，鮮明なもの(300dpi程度)とする。写真番号(例:図1)，題名，注などは図と同様とする。
16. 「研究」について，表，図，グラフおよび写真で用いられる文字は，題名，説明，注も含めすべて英文とし，番号はTable 1, Fig.1のように表記する(本文中での引用にもこの表記を用いる)。また，題名，説明，注は，本文を参照しなくても，それだけで表，図，グラフおよび写真の内容が理解できるように記述する。
17. 文献は本文引用箇所の右肩に，<sup>1), 2), 4)~6)</sup>などをつけ，本文末に一括して引用順に記載する。  
各文献は著者名，文献名，巻，号，ページ，西暦年号の順に記入する。通年ページのある雑誌では，号数は省略できる。巻数はゴシック，英文雑誌名はイタリックとする。  
単行本の場合は，著者名，文献名のあとに発行所，ページ，西暦年号を記入する。その他は例に準じる。  
例：
  - 1) 富田文一郎：木材工業，**63**(1)，41 (2008)
  - 2) 鷺見博史：葉枯らし乾燥，(社)全国林業改良普及協会，58-59 (1990)
  - 3) M. Okuma : *Mokuzai Gakkai shi*, **46**(6), 546-551 (2000)
  - 4) J. Bodig, B. A. Jayne: *Mechanics of Wood and Wood Composites*, Van Nostrand Reinhold, 112-116 (1982)
  - 5) 林野庁：令和2年度森林・林業白書 (2021)  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/R2hakusyo/pdf/gaiyou-20.pdf> (参照 2021.9.30)
  - 6) 日本農林規格：JAS 1083:2019，製材 (2019)
  - 7) 国土交通省：平成31年3月26日国土交通省告示第490号 (2018)